

令和3年度 JR北信太駅周辺地区まちづくり懇談会 【第1回】

令和3年9月

和泉市都市デザイン部
都市整備室

令和２年度の事業実施について



《測量・設計業務》

自由通路及び駅西口広場の基本設計、ボーリング調査などを実施。業務の中で、駅西口広場の計画見直しを行い、周辺町会及び住民の意見を徴収し、基本設計図を検討及び作成中。
（別紙の「北信太駅西側整備計画（案）に対する意見等について」及び「地元町会説明資料」をご確認ください。）

《用地測量業務》

駅西側での用地買収に向けて、事業用地を対象に用地測量を実施。（地権者及び隣接者と境界確認などを行い、敷地境界の確定を行う。）

《鑑定・調査業務》

用地買収に向けて、駅東・西側において土地鑑定評価及び物件調査などの業務を実施。

《都市計画変更手続き》

都市計画道路「北信太駅前線」、「阪和東側1号線」において、都市計画変更の手続きを進め、令和3年3月に都市計画変更を行った。
（別紙の「南部大阪都市計画道路の変更について」をご確認ください。）

《まちづくり懇談会等》

令和2年5月に書面にて事業進捗状況の報告を行い、令和2年8月に、まちづくり懇談会を開催。

令和2年度の事業実施について



事業スケジュール

	R2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月	3月
まちづくり懇談会		書面報告 ●			8/25開催 ●							
測量・設計業務				ボーリング調査等 ←-----→			自由通路・駅西口広場基本設計（R3.5末まで） -----→					
地元町会 説明会											3/14聖ヶ岡町会 ● ←-----→ 葛の葉町会・東自治会 近隣住民意見徴収	
用地交渉	←-----→				用地買収に向けた用地交渉							→
用地測量業務				←-----→	【駅西側】用地測量・境界立会・面積確定など							→
鑑定・調査業務	←-----→				【駅東・西側】土地鑑定評価及び物件調査・算定							→
都市計画変更			大阪府協議 -----→			9/29市民説明会 ●				縦覧告示 ←-----→	3/30都市計画審議会 ●	

令和3年度の事業予定について



《測量・設計業務》

駅東西を結ぶ自由通路(EV含む)の整備に向けて、自由通路の実施設計業務を行う。

《仮設駐輪場整備》

自由通路の整備に向けて、府道側のバス停裏地に仮設駐輪場の整備を行い、令和4年度から仮設駐輪場の運用を開始する予定。

《用地買収》

自由通路の整備に向けて、駅東・西側において計画的に用地買収を進めていく。

《鑑定・調査業務》

過年度より引続き、土地鑑定評価及び物件調査などの業務を行う。

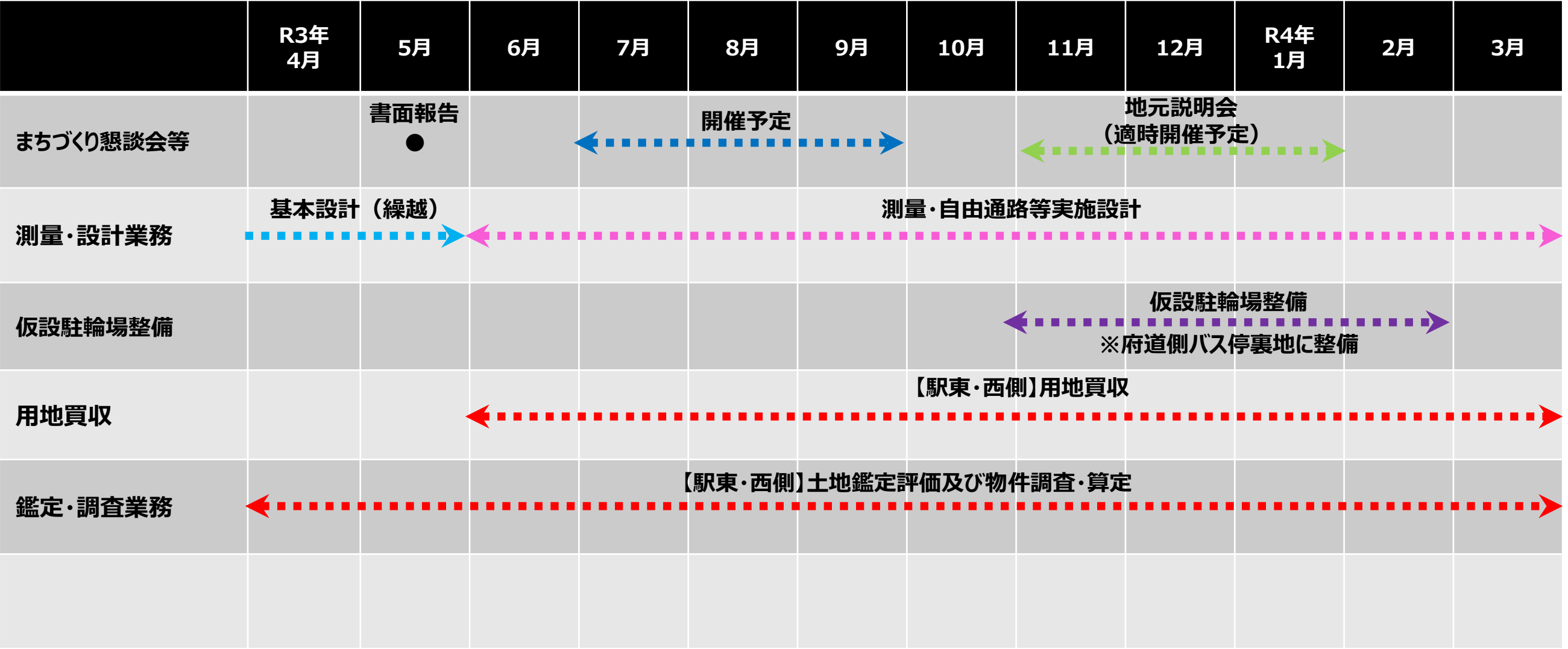
《まちづくり懇談会等》

緊急事態宣言の発出を受けて、5月は書面報告。今後、収束状況などを見据えて、懇談会を開催予定。必要に応じて、地元町会などへの説明会を開催する予定。

令和3年度の事業予定について



事業スケジュール（案）



注）このスケジュールは現時点での案なので、今後の関係各機関との協議・調整などにより、変更となる場合があります。

北信太駅前仮設自転車等駐車場整備事業（案）について

都市政策室（交通担当）

【事業の概要】

- ・北信太駅前整備事業における自由通路及び駅前広場の整備に向け、老朽化が進む市営駐輪場の除却・移転が必要である。
- ・本設駐輪場は、整備後の北信太駅前線沿道に整備予定で、それまでの間、道路事業用地に必要規模の仮設駐輪場を整備するもの。

【目的・必要性】

既設駐輪場の除却により、駅周辺の民間駐輪場で収容できない利用者が発生し、放置自転車の増加が懸念されることから、必要規模の駐輪場を整備する必要がある

【施設概要】

名 称：北信太駅前仮設自転車等駐車場
計 画 地：和泉市太町16-3他 約600㎡（北信太駅前線用地）
計画台数：自転車130台 原付20台（平面平置き、屋根あり）
主な設備：舗装、区画線、フェンス、屋根、照明 等



【計画地（位置図）】



【計画地（写真）】



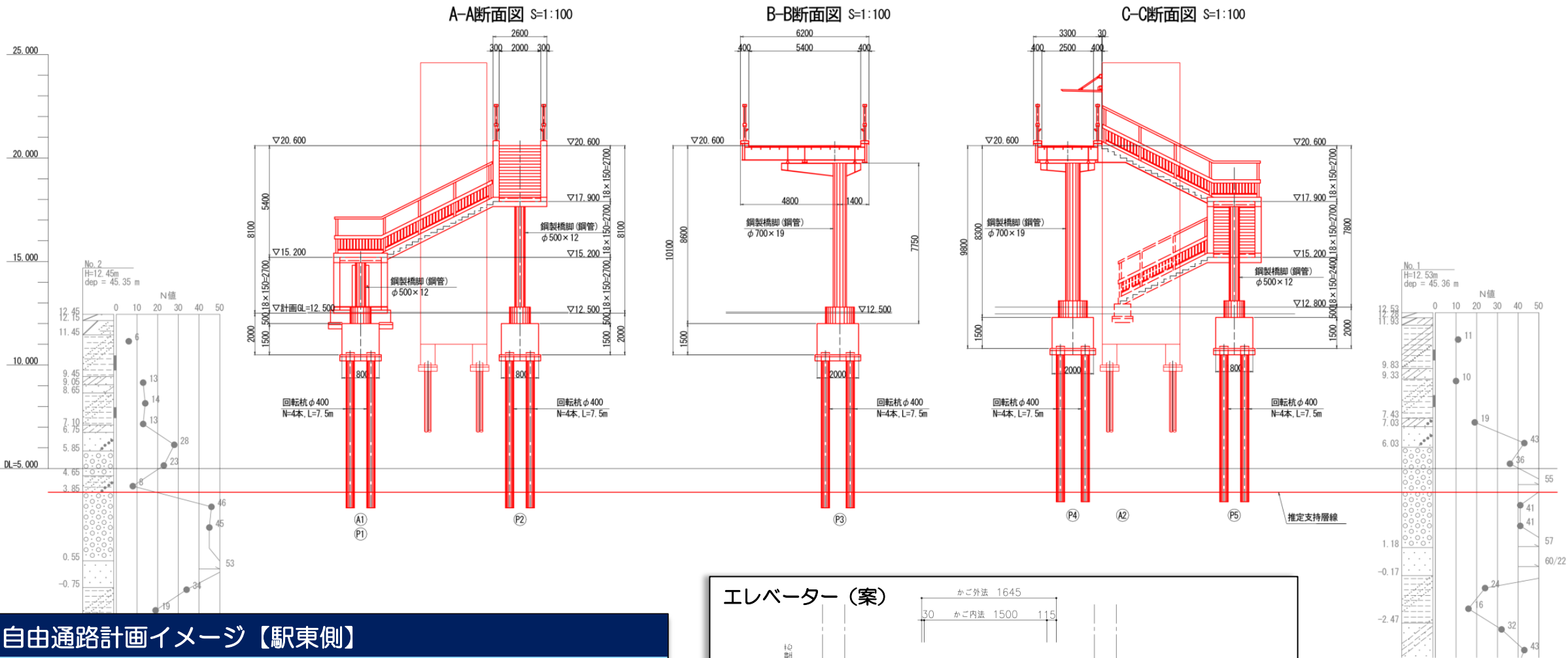
【仮設駐輪場イメージ案】

【今後のスケジュール】

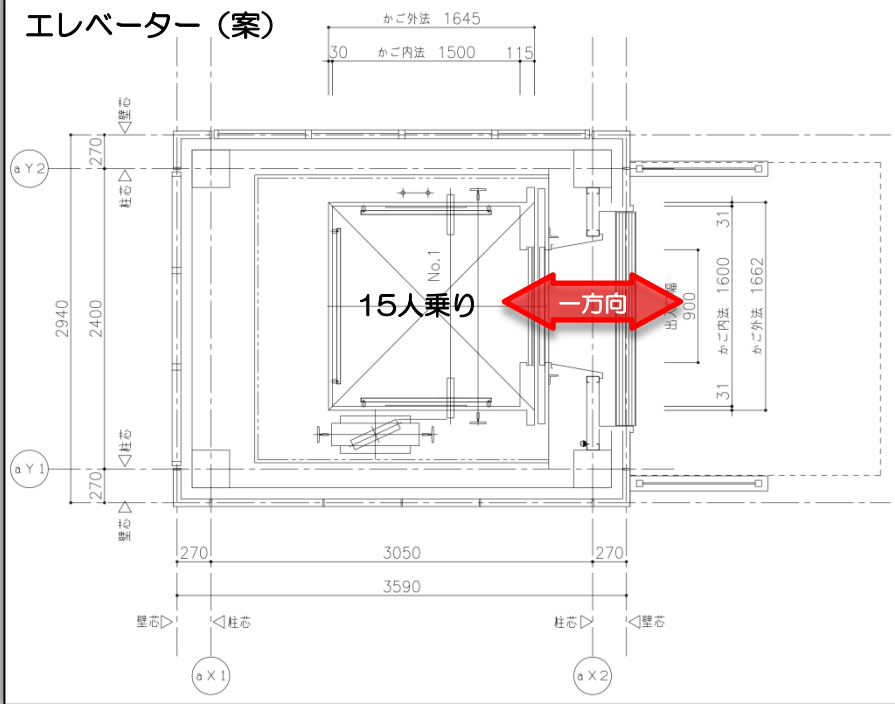
令和3年11月～	仮設駐輪場整備工事
令和4年 2月～	移転準備
令和4年 4月～	仮設駐輪場供用開始
令和4年上半期	既設駐輪場の除却工事

自由通路について

自由通路 橋梁一般図(その2) (単純鋼床版桁橋)



エレベーター (案)

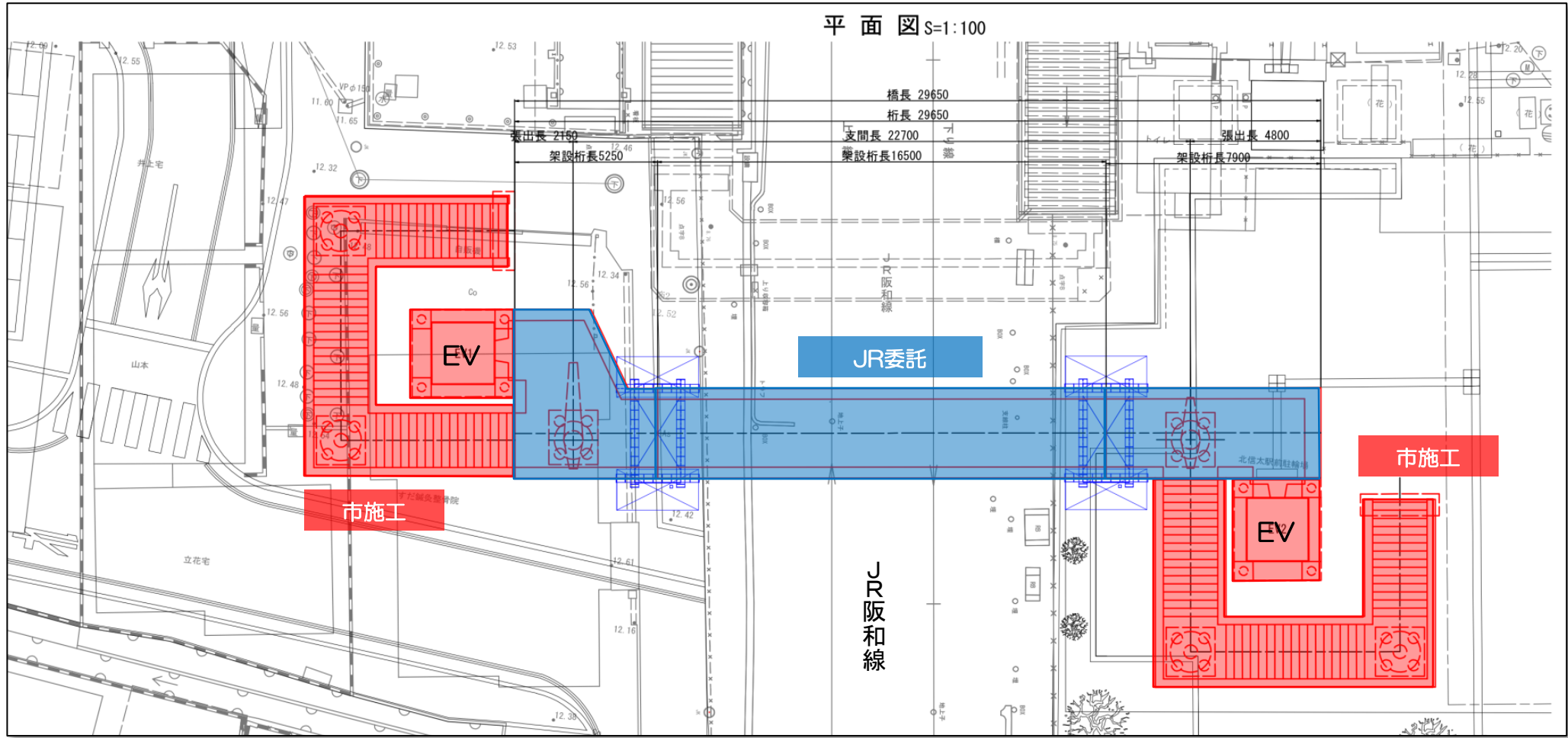


※EVIは、エレベーター棟基本設計図面によること。
※本設計において駅広場の計画高さは以下の通りとする。
西側広場 GL=12.500m
東側広場 GL=12.800m

令和	年度	工事
北道太田駅自由通路等測量調査・設計業務委託		
【自由通路基本設計】		
和泉市太田ほか地内		
自由通路 橋梁一般図(その2)	2	
図示		11
和泉市 都市デザイン部 都市整備室		

自由通路の施工について

- 自由通路の施工については、ＪＲ阪和線の軌道上での架設となることから、ＪＲと協議・調整を行い、ＪＲと基本協定などの締結を行う必要がある。
- 施工区分については、基本的な考えとして線路上での架設や軌道への影響が出る恐れのある部分をＪＲに工事委託し、階段部やエレベーターなどについては市施工とする。
(今後のＪＲとの協議により、施工区分については変更となる可能性があります。)



施工ステップ

令和3年度

駅東側仮設駐輪場整備

令和4年度

駅東側市営駐輪場解体
自由通路下部工事（駅西側）

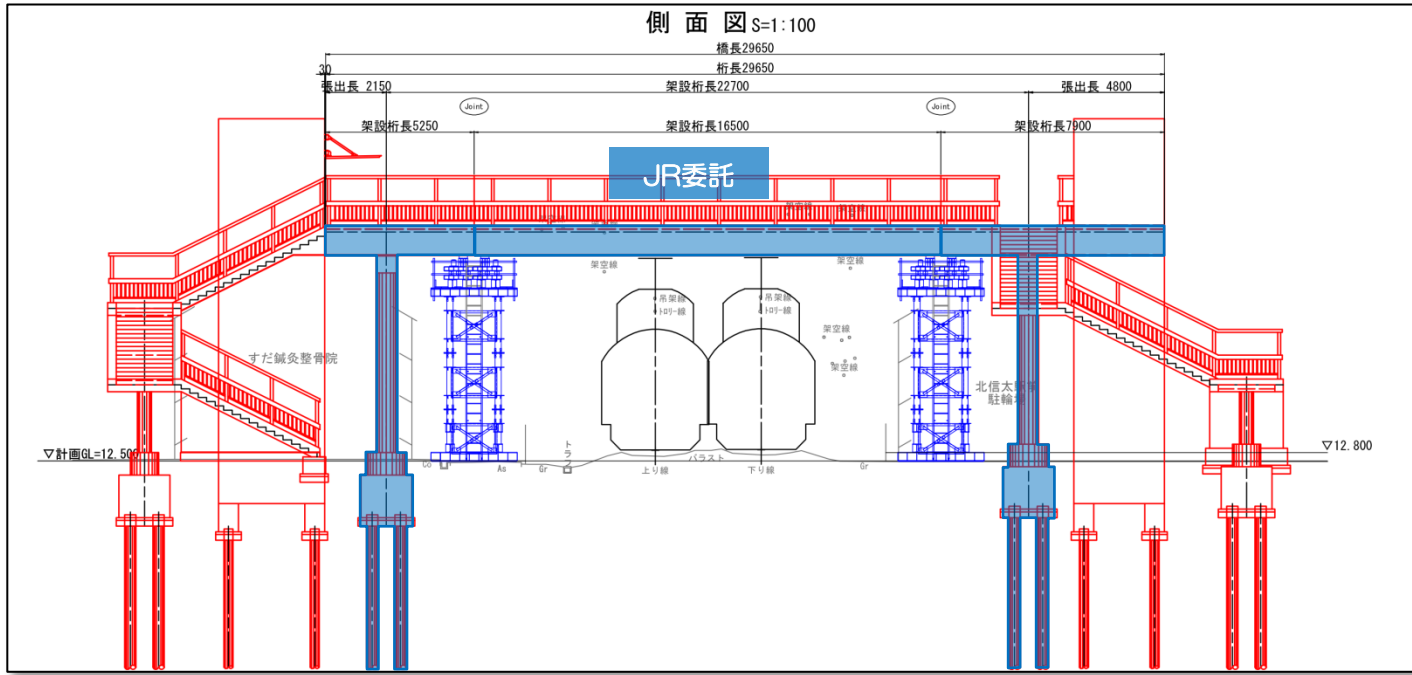
令和5年度

鉄道電気設備等移設（ＪＲ）

令和5～6年度

自由通路整備（ＪＲ）
自由通路整備（市施工）
自由通路ＥＶ整備（市施工）

自由通路整備完了



北信太駅前整備計画について

【事業の経緯】

■北信太駅前整備事業については、平成31年3月に「駅前整備基本計画」を策定し、令和元年度より事業化を図り、駅前広場及び駅前線等の基本設計、自由通路及び駅西側広場の概略検討を実施。この中で、地元住民の皆様に参加いただきワークショップ形式による「施設整備検討部会」を開催し、住民意見なども踏まえて、令和2年5月に施設整備計画書を作成しました。

■令和2年度については、自由通路及び駅西側広場の基本設計などを行い、駅西側広場の計画については、地元住民の意見を聴取し、具体的な検討を進めてきました。

■施設整備計画書の作成時に検討していた駅西側広場については、現況の道路形態をベースに、最小限の区域で検討を行っていましたが、地域住民から頂いた現況の課題などについて整理し、計画区域の見直しについても検討を行う。

駅西側計画イメージ【施設整備計画書より抜粋】

- 交流・防災空間の形成
- 駅東西の連携の強化
- 観光周遊ネットワークの形成

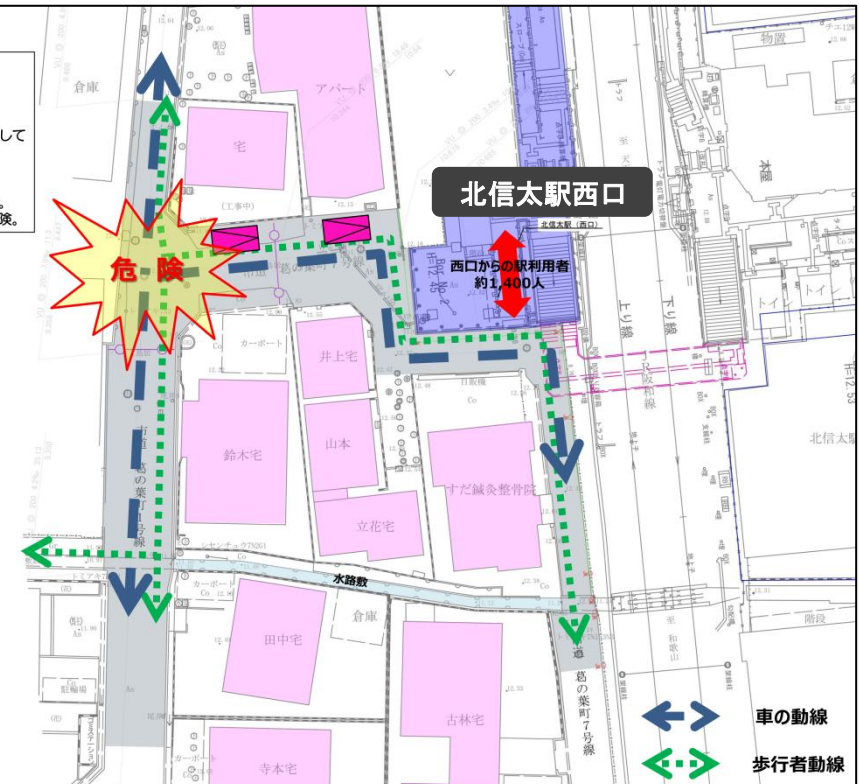
駅西口のオープンスペースの活用、市備蓄倉庫の設置など
歩行者優先道路の歩行空間整備、駅を起点としたバリアフリー空間の形成など
葛葉稲荷神社の参道整備、観光案内サインの設置など



注）パースは検討部会の意見を反映したイメージです。今後の関係各機関との協議・調整等により変更が生じます。

北信太駅 西側(現況)

- 【駅西側の現況と課題】
- ・道路が狭く、クラック状になっている。
 - ・歩道がない。
 - ・送迎車両が路上に停車している。
 - ・送迎車両が帰るときに交差点内でバックして帰っており、事故の危険性がある。
 - ・路上や民地などに不法駐輪されている。
 - ・夜間が暗く、防犯上、問題がある。
 - ・地下通路がバリアフリー化されていない。
 - ・駅南側の踏切が通学路となっており、危険。



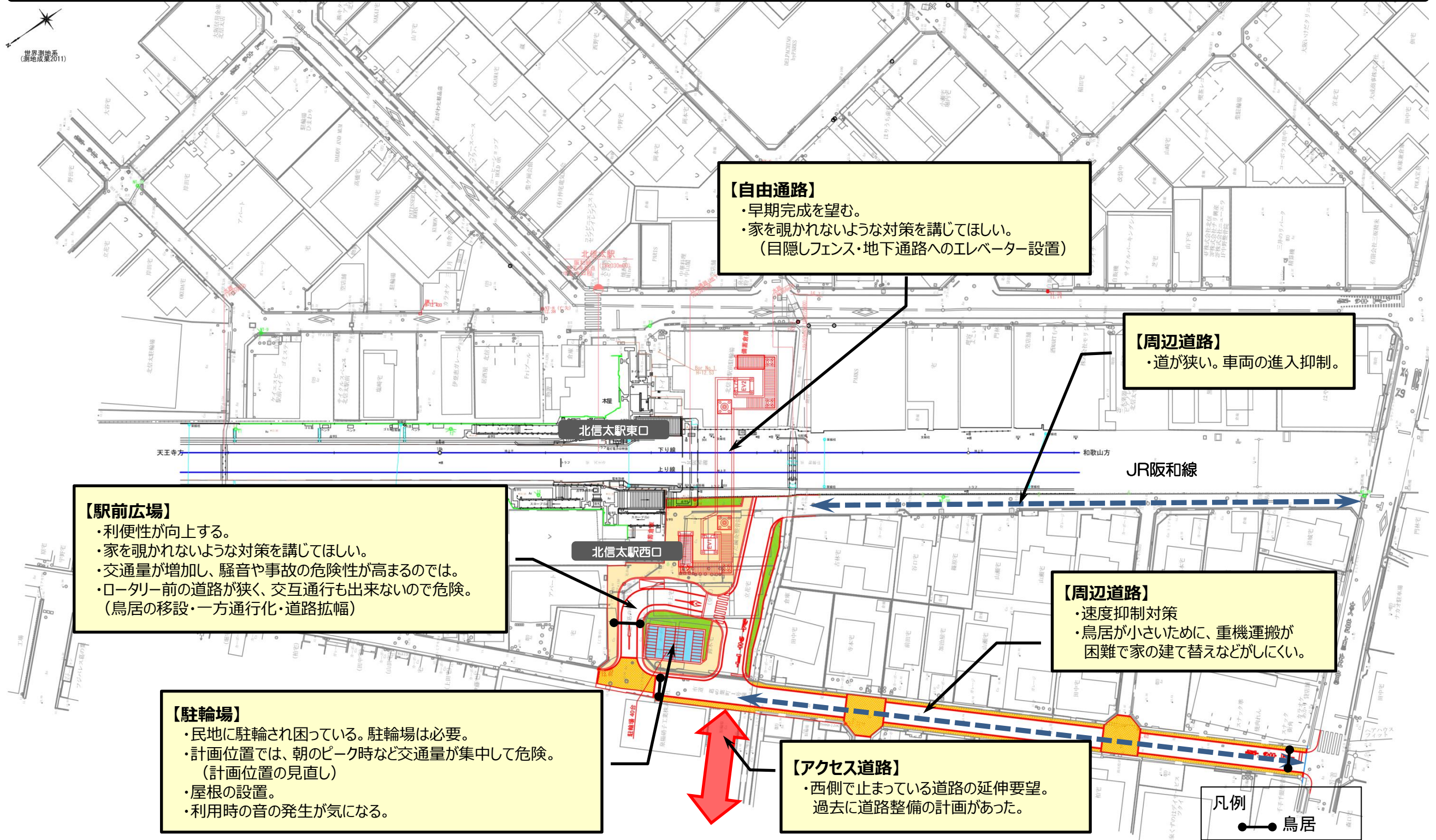
変更案



■計画区域を見直しすることで、広場内での旋回が可能となり、乗降スペースも確保でき利便性が向上されると共に、自由通路から駅利用者が道路横断することがなく交通安全性も向上することから、変更案をもとに地元意見等を聴取し、具体的な検討を行う。

駅西側広場の計画案について

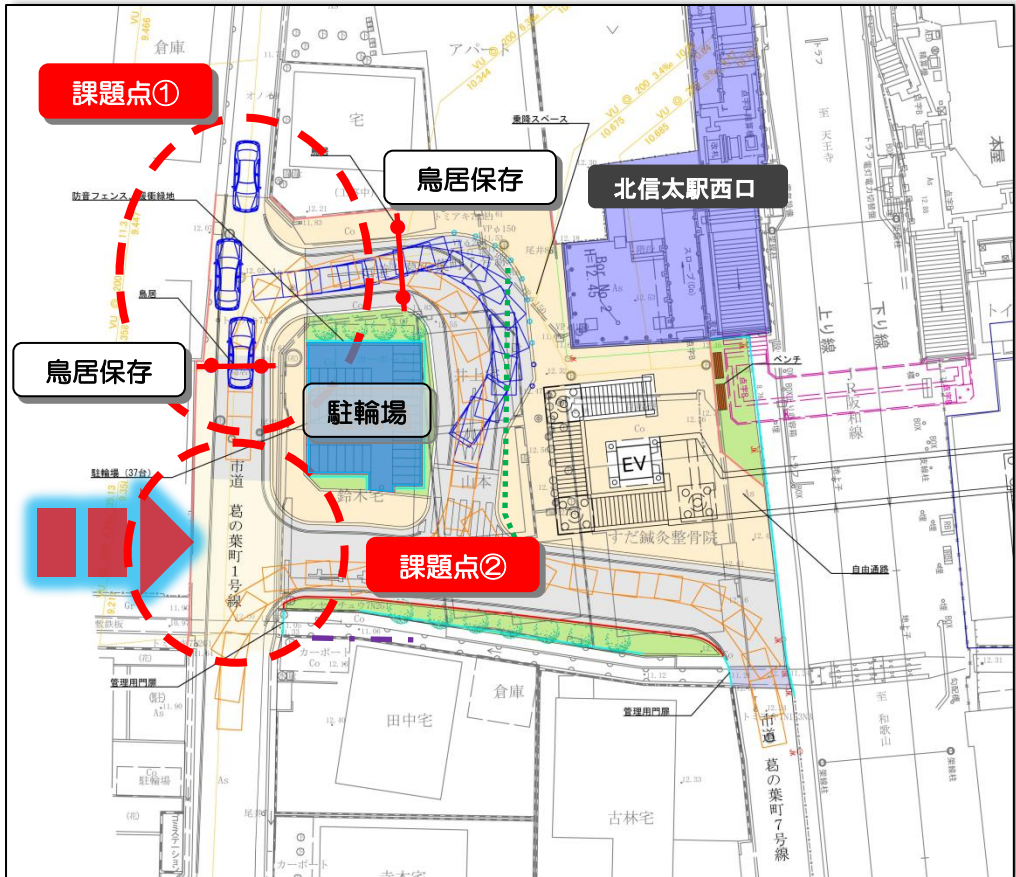
【地元等の意見について】
■ 変更案に対する地元意見（葛の葉町会・葛の葉東自治会・聖ヶ岡町会・沿道住民）及び警察意見の主な内容を下記に示しています。



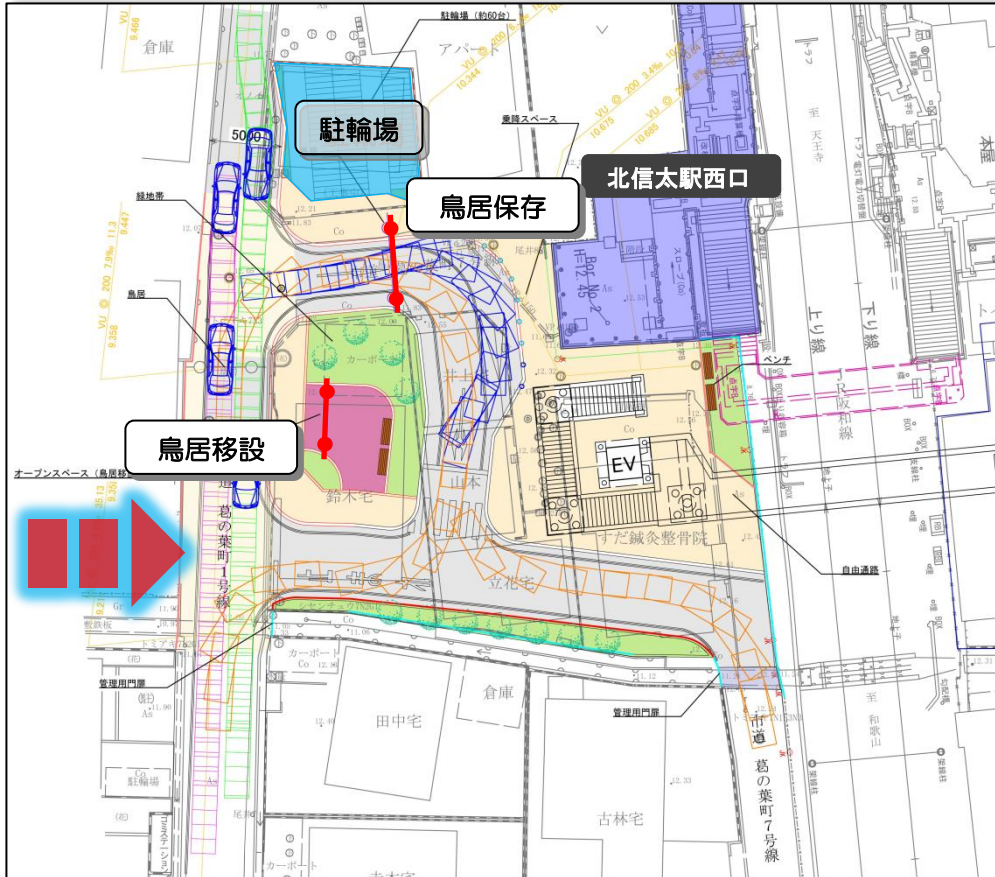
地元意見や関係各機関との協議内容も踏まえて、計画案の施設配置などの見直しを行う。

駅西側広場の計画案見直しについて

- 計画案：現況道路をアクセス道路として、転回スペースを設置し、利便性の向上を図る。現状より交通量の増加は想定されるが、大幅な増加は見込まれない。
- 見直し案：西側からのアクセス道路（13.0m）の接続を検討することで、計画案より駅前への交通量が増加することが想定される。



■ 計画案【現況道路での駅前アクセス】 ■

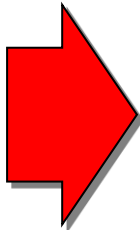


■ 見直し案【西側からのアクセス道路接続】 ■

計画案の見直しにおける課題点

- 駅西側からのアクセス道路（13.0m）の接続を検討するにあたり、交通量の増加などによる交通安全上の課題を解決するために計画の見直し検討を行う。

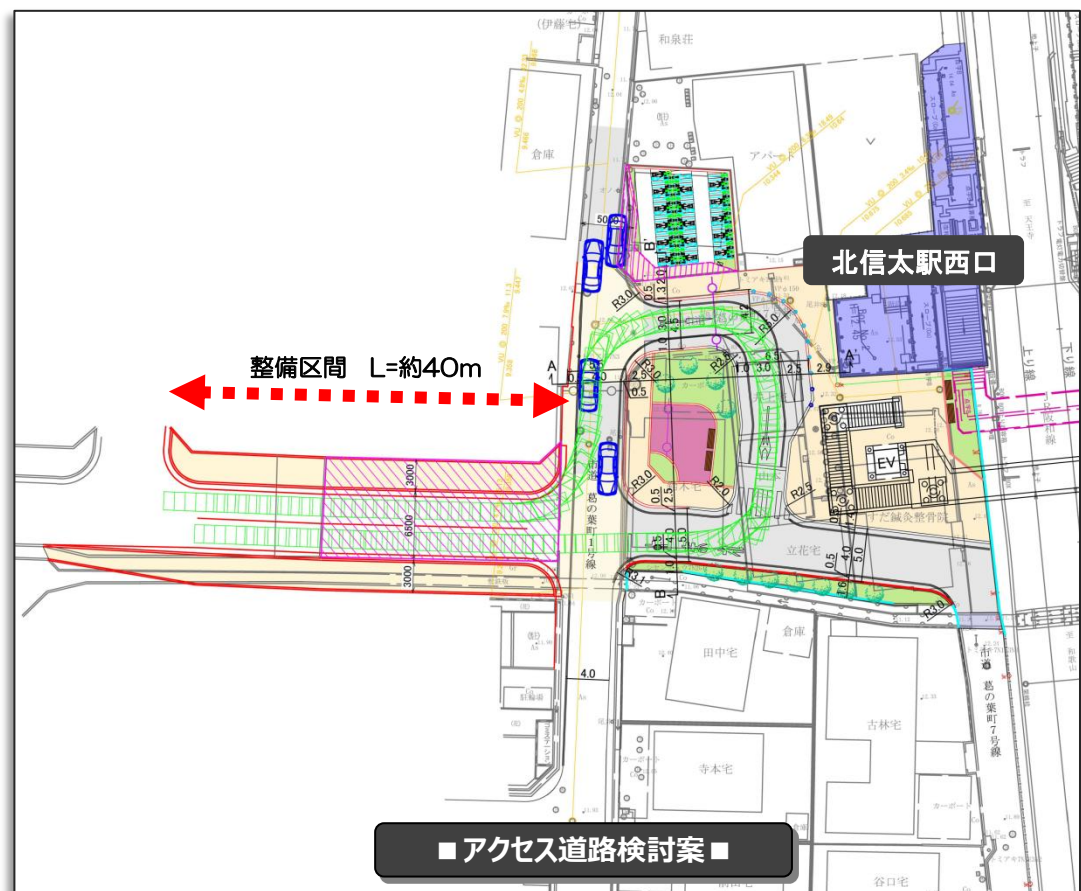
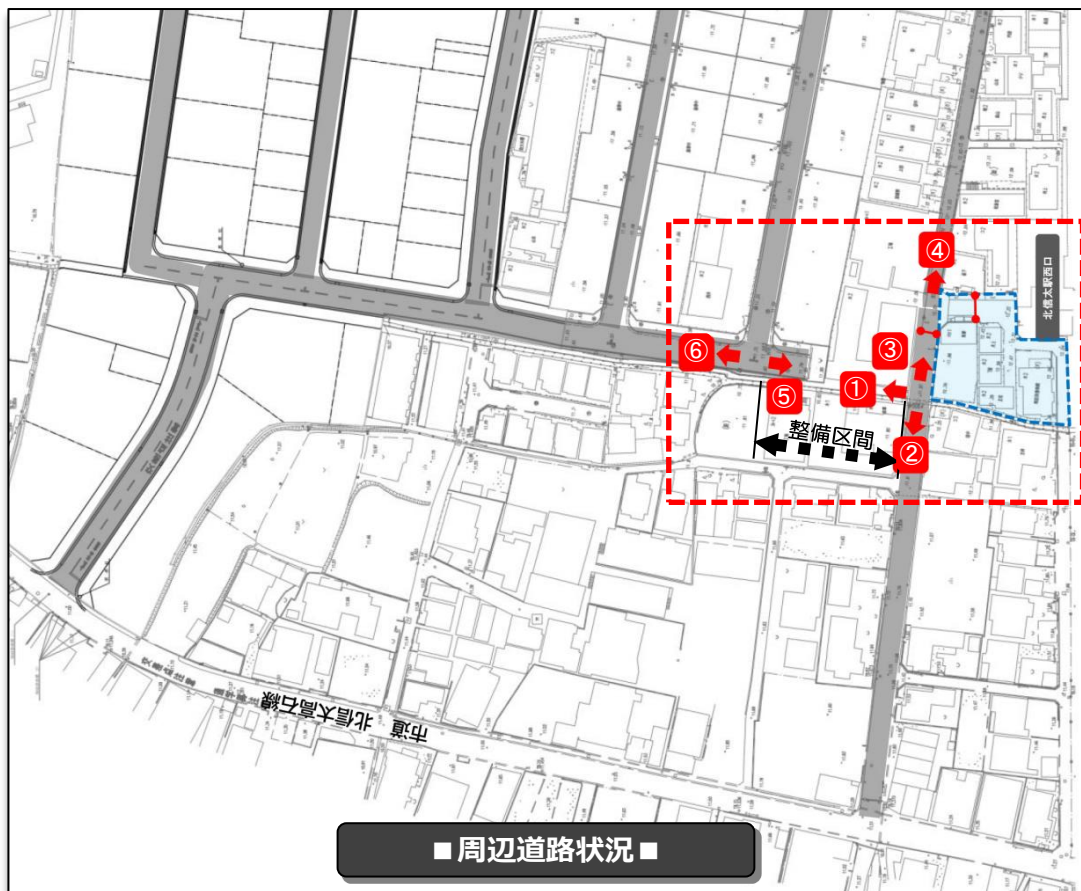
- 課題点①
⇒鳥居が狭く（約2.9m）車両の離合が出来ない。また、北側の道路幅員も狭く（約3.5m）対向車が来た際に退避するスペースもない。
⇒西側からのアクセス道路が接続されると、現状より駅前へのアクセス性が格段に向上することから、交通量が大きく増加することが想定されるが、そうなった場合、車両が混雑し、安全な駅前空間の確保が困難となる。
- 課題点②
⇒駅前広場の敷地有効利用として駐輪場を計画しているが、西側からのアクセス道路が接続されると、交差点部に自動車・歩行者・自転車の交通が集中及び交錯し、交通安全上の問題が生じる。



- 見直し点①
⇒鳥居を移設し、道路幅員を拡幅（約5.5m）することで車両の離合が出来る。また、北側の道路幅員も拡幅（5.0m）し、対向車との退避スペースを確保することで、円滑な交通動線及び安全な駅前空間を確保できる。
- 見直し点②
⇒駐輪場を駅前広場隣接の敷地に変更することで、交差点部での自動車・歩行者・自転車の交通集中及び交錯することが解消できる。

アクセス道路の検討について

- 地元意見のなかで、駅西側からのアクセス道路の接続について、整備を要望する意見があった。
- 駅西側においては、区画整理事業により良好な住宅地が形成された経緯があり、将来的に駅西口へのアクセス道路が接続できる形状となっていることから、駅前整備事業とあわせて一体的にアクセス道路を整備することで、駅西地区全体の利便性・アクセス性・安全性の向上を図ることができるので、整備に向けた検討を進めていく。

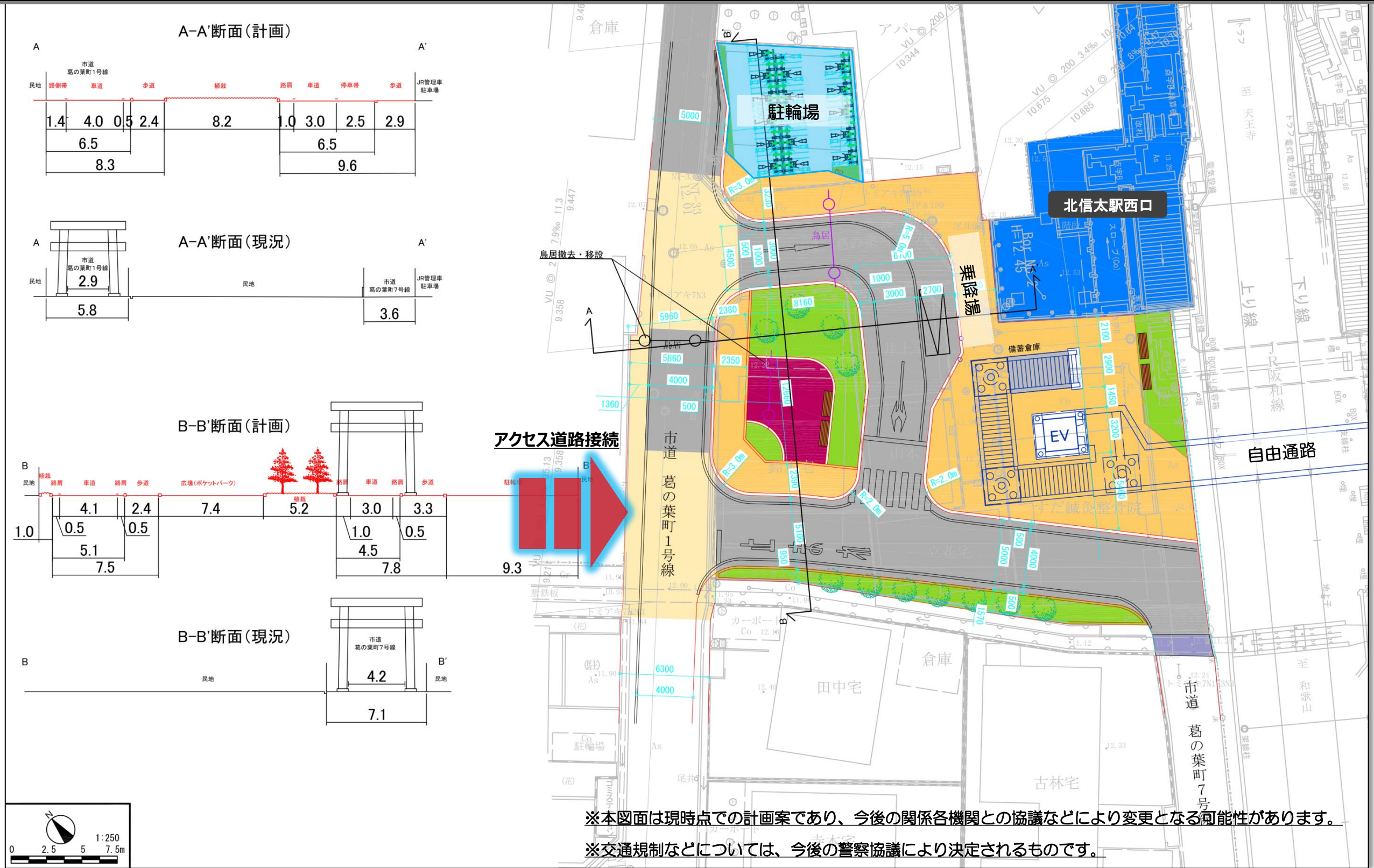


【検討課題】

- 財源確保に向けて、関係各機関との協議・調整を進める。
- 用地買収に向けて、地権者との交渉を進める。
- 地域住民への事業周知・説明を行い、合意形成を図る。

駅西側広場の計画案について

- 駅西側については、市道葛の葉町1号線と7号線に接続する道路交通形態となっているが、現状のクランク形状では幅員も狭く、通行性・安全性に劣ることから、ロータリー形状に改良することで、駅送迎用と一般車の動線を分離させることもでき、一般車の通行性及び安全性が向上する。西側からのアクセス道路の整備も検討を行っており、交通量が大きく増加することが懸念されるので、鳥居を移設し、交互通行できるよう幅員を拡幅すると共に、北側道路からの対向車退避スペースも確保し、安全な駅前空間を確保する。
- 駅前のロータリー部は、葛の葉町1号線からの一方通行を検討しており、駅送迎用利用を目的とすることで一般車の通過交通【通り抜け】を排除する。

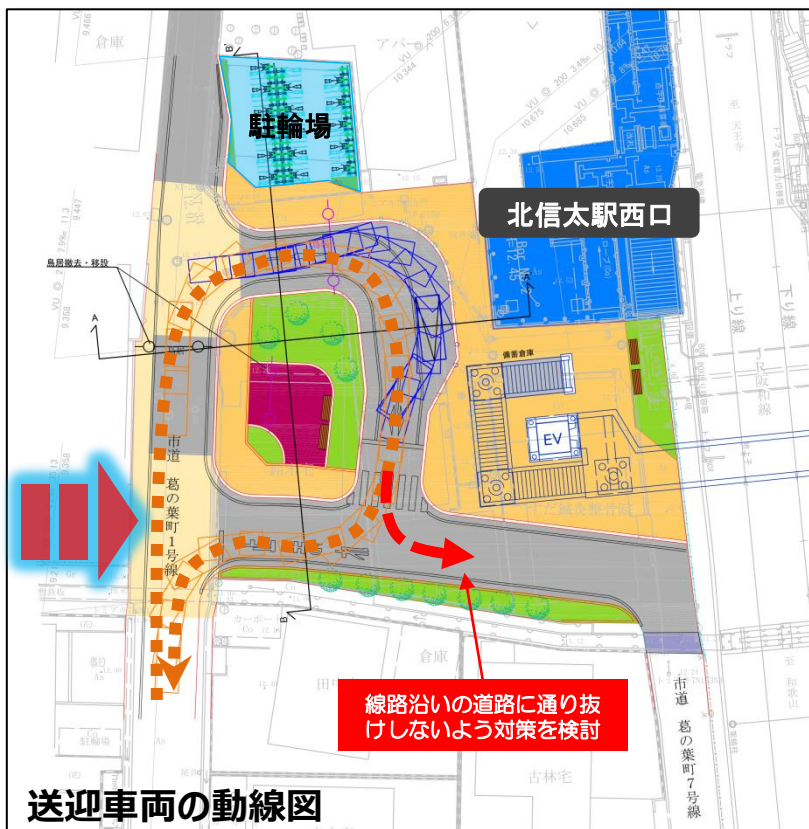


※本図面は現時点での計画案であり、今後の関係各機関との協議などにより変更となる可能性があります。

※交通規制などについては、今後の警察協議により決定されるものです。

駅西側広場の交通動線について

- 駅前をロータリー形状にすることで、送迎車両の乗降場を配置し、駅利用者の利便性・安全性の向上を図る。
- 駅前に歩道整備をすることで、車両と歩行者を分離し、安全な駅前空間を確保する。
- 駅西側においても、駐輪場整備の検討を行う。



【駐輪場について】

- 駅西側については、小規模の民間駐輪場が1箇所あるのみで、西側からの駅利用者のお大半は、踏切を渡り駅東側の駐輪場を利用している状況である。また、西側においては、自転車が路上などに不法駐輪されている状況から、地元住民からも駐輪場の整備が望まれていることから、駅西側に駐輪場を整備することで、不法駐輪対策及び踏切を渡り駅東側へ行く自転車交通量の減少など地域の利便性・安全性の向上を図る。



駐輪場イメージ案

駅西側広場の整備イメージ



※本図面はイメージ案であり、今後の関係各機関との協議などにより変更となる可能性があります。

事業スケジュールについて

- 自由通路及び駅西側広場などの整備については、都市再生整備計画「JR北信太駅周辺地区」を作成し、令和3年度から7年度の5か年で、「都市構造再編集中支援事業補助金」の採択を受けて事業を進めていく。
- アクセス道路の整備については、駅前整備事業とあわせて令和7年度の事業完了を目指す。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
自由通路 (JR委託)		JR社内投資 決定後に協定 を締結予定	鉄道電気 設備移転	自由通路 (JR委託)		令和4年度にJRと協定を 締結予定
自由通路 (市施工) ※EV含む	実施設計	自由通路整備工事 (市施工)				
駅東駐輪場	仮設駐輪場 整備	R4.4～ 仮設駐輪場運営開始予定				
		市営駐輪場 解体				
駅西側広場		実施設計		整備工事		
歩車共存道路 (駅西側)		整備工事				
駅西駐輪場					整備工事	
用地買収	用地買収 (駅西側)					
アクセス道路		設計・用地買収・整備工事				

※本スケジュールは現時点での計画案であり、今後の関係各機関との協議などにより変更となる可能性があります。